

研究科における人材養成等の目的

専攻名	人材養成等の目的
日本語日本文学専攻 (博士課程)	<p>前期課程では、学部で身につけた日本語・日本文学全般に関する知識・教養をもとに、古代中世文学、近世近代文学及び日本語学の3研究分野について、各自の問題意識を深めつつ研究を進めるとともに、それらを有機的に関連させて新しい視角を切り開くという、積極的な研究姿勢を身につけた専門職業人の育成をめざす。</p> <p>後期課程では、前期課程における研究成果を継承発展させ、より高度な専門性をもつ職業人の育成を第一とし、併せて高度な研究能力・学識をそなえた研究者の育成を目的とする。このため、専門研究の深化を図るとともに、各専門領域で中心的役割を担いうる広い視野と能力を身につけた人材の育成をめざしている。</p>
英語英米文学専攻 (修士課程)	<p>本専攻の教育研究上の目的は、キリスト教的世界観を基礎として、学部の基礎教育の上に、イギリス文学、アメリカ文学、英語学言語学及びキリスト教思想の4分野について、専門の学術の理論及び応用を教授研究し、さらに広い視野に立って精深な学識と知見を授けることである。また、専攻分野における高度な研究能力と、国際的視野、柔軟な発想をもった人材の育成を目的としている。</p>
社会文化学専攻 (修士課程)	<p>本専攻では、広義の社会学及び社会史の研究課題の追究と研究方法の習得をとおして、現代と歴史的過去とにわたり、社会文化事象に関わる専門的知識と、それを広くかつ深く考察する洞察力・問題解決能力を培う。これによって、自治体や民間企業の企画立案業務・調査業務などに従事する高度な専門職業人、研究能力を有する教育職員、また高い専門性をそなえた地域の社会団体のリーダー等々として活躍しうる人材の育成をめざす。</p>